



しあわせになあれ 名前は祈り

学校長 高島 典子

いよいよ7月となりました。しかし、まん延防止等重点措置の適用期間が7月11日まで延長され、日々の教育課活動や6年生の修学旅行、オリンピック・パラリンピックの行方など気になることがいろいろあり、学校も落ち着かない日々を過ごしています。感染者の増加や変異株の台頭も心配なところです。

そんな中、先日先生方の教科別研修会があり、音楽の研修会に参加していたところ、ある楽曲が紹介されていました。曲名は「しあわせになあれ」です。「しあわせになあれ しあわせになあれ」と繰り返す旋律がとても印象的な素敵な曲です。作曲者は弓削田健介さん。教育芸術社から楽譜が出ています。また、瑞雲舎より詩：弓削田健介さん、絵：松成真理子さんの絵本も出ています。動画共有サービスでも検索すると楽曲と絵本を一緒に鑑賞することができます。そしてこの歌ができるきっかけになったエピソードを弓削田健介さんが紹介していました。

旅の途中、僕は時間がある時は路上に出て歌うようにしています。夜、ギター片手に歌っているといろいろな人との出会いがあります。その偶然の出会いが、時に大きな気づきを与えてくれることがあります。

おじさん「お前、名前なんていうんや？どっから来たんだ？」

弓削田 「弓削田健介と申します。九州から参りました。」

おじさん「ゆげた？なんだそりゃ、残念ながら売れない名前だな！」

弓削田 「ガビーン。でもそうですよね。漢字も読みにくいし。」

おじさん「でもね、健介っていう名前は、大事にするよ。両親の祈りが込められているからな。」

おじさんは急に真面目になり、ポケットからお気に入りの詩がたくさん書いてあるボロボロの手帳を出して、詩を朗読してくれたのです。その詩が「名前は祈り」でした。

弓削田さんはこの詩に感動し、それでインスピレーションを受け、前述の曲「しあわせになあれ」ができたといいます。私たちはそれぞれに幸せを祈った名前が付けられています。両親の祈りが込められた名前が。心を込めて名前(美しい祈り)を互いに呼びかけ、大切にしたいですね。

名前は祈り

名前はその人のためだけに用意された美しい祈り
若き日の父母が 子に込めた願い
幼きころ 毎日毎日 数え切れないほどの美しい
祈りを授かった
祈りはその人の体の一部となり その人となった
だから 心を込めて呼びかけたい 美しい祈りを
毛利 武